

現場改善研究会

〈トヨタ生産方式を用いた改善活動〉

(公財) 埼玉県産業振興公社
新産業振興部
技術開発支援グループ
令和7年(2025年)

背景・主旨

自動車業界が大きく変革している中、部品製造各社にも変革が求められています。付加価値を高め、より効率的な生産活動に取り組むことが、厳しい競争に勝ち残るために必要です。

目的

企業が利益を上げて存続し続けられる

原価低減活動で企業の体力向上を図る

- ① トヨタ生産方式の考え方, ものの見方を理解し, ムリ・ムラ・ムダを省き良い物だけを, 安く、タイミングよく造り・運ぶこと。
- ② ムダを理解し、現場で見つけ対策できる人材の育成を図る。
- ③ 自社技術を売込む提案とプレゼンテーションの力を身につける。

現場改善風景



現場改善研究会

企業と公社で一緒に改善活動(計画的)

企業

企業

企業

トヨタ生産方式の手法がベース

公社 + 専門家

* 品質、コスト、在庫、物流等の困りごと

コース選択

① 通常コース 5ヶ月

現状把握から改善のアプローチを
実践で学ぶ

② 短期コース 1~3ヶ月

個別課題に重点に対応

③ 個別相談

困りごとや課題への対応

われわれと一緒に現場改善をして生産性向上に取り組みませんか！

公社コーディネータ (CO)



久保

深澤

米澤

四栗

発表会風景



問い合わせ先：(公) 埼玉県産業振興公社 技術開発支援グループ 松浦

TEL 048-711-6870